教科名

音　楽　科

【年間計画】年間を通して、次に示すような単元を学習していきます。

月	第１学年	第２学年	第３学年
4	オリエンテーション 「校歌」	オリエンテーション 校歌	オリエンテーション 校歌
5	鑑賞「春」 合唱祭自由曲	5 鑑賞「交響曲第５番ハ短調」 合唱祭自由曲	日本の歌「花」 合唱祭自由曲
6	郷土のさまざまな民謡 日本とアジアをつなぐ音 合唱祭課題曲	日本の伝統芸能 「雅楽」「歌舞伎」 日本の歌「浜辺の歌」 合唱祭課題曲	日本の伝統音楽「能」 合唱祭課題曲
7	合唱祭自由曲	合唱祭自由曲	合唱祭自由曲
9	合唱祭自由曲	合唱祭自由曲	合唱祭自由曲
10	合唱祭課題曲・自由曲	合唱祭課題曲・自由曲	合唱祭課題曲「校歌」 ・自由曲
11	鑑賞「魔王」 鑑賞「六段の調べ」	鑑賞「フーガト短調」 「ボレロ」	総合芸術 鑑賞　管弦楽の作品
12	器楽　箏 器楽　ギター	器楽　箏	器楽　箏
1	日本の歌「夏の思い出」 創作　言葉の抑揚	器楽　ギター 創作　リズムパターン	器楽　ギター 創作　CM ソング
2	卒業式　式歌練習	卒業式　式歌練習	卒業式　式歌練習
3	卒業式　式歌練習	卒業式　式歌練習	卒業式　式歌練習

＊表中の数字は、月を表しています。行事・時間割の切替え等で多少前後,内容の変更があります。
＊１年生でアルトリコーダーを持っていない生徒は２学期ごろ購入のお知らせをいれさせていただきます。

【授業内容】

1年	表現	（歌唱）	明るく響きのある声で、平易な混声合唱曲に取り組みます。
		（器楽）	楽器の特徴をとらえて、基礎的な奏法を身につけて演奏します。
	創作		音色を生かして、創作活動を楽しみます。
	鑑賞		楽器の音色や声の特徴に興味を持って鑑賞できるようにします。
2年	表現	（歌唱）	混成３部合唱の響きを味わい、表情豊かに表現できるようにします。
		（器楽）	音色の特徴をとらえて演奏できるようにします。
	創作		表現したいイメージを持ち、音素材の特徴を生かし、構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくります。
	鑑賞		音楽の構造と曲想のかかわりに興味をもち、音楽のよさを自分の言葉で語れるようにします。
3年	表現	（歌唱）	多様な表現方法を用いて表現する喜びを味わえるようにします。
		（器楽）	全体のバランスを考えながらアンサンブルができるようにします。
	創作		構成を工夫して曲をつくれるようにます。
	鑑賞		ジャンルを超えて、音楽の素晴らしさについて根拠をもって語れるようにします。

１　音楽科で身に付けさせたい力

①音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を身につけます。
②多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高めます。
③多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高めます。

２ 評価方法について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

（１）授業中の活動の評価

「表現」「鑑賞」することを、積極的に行っていることが基本です。特に、音楽に興味・関心を持って、主体的に学習に取り組み、「聴いている人、観ている人に伝わる表現」を目指しているかを評価していきます。

①毎時間の授業の取り組みを観察（授業態度・活動内容）
授業数が少ない中で、１時間の取り組みはとても大切です。積極的に自己表現し、音楽のよさを表現して下さい。また、忘れ物は、授業の習得能率に深く関わります。

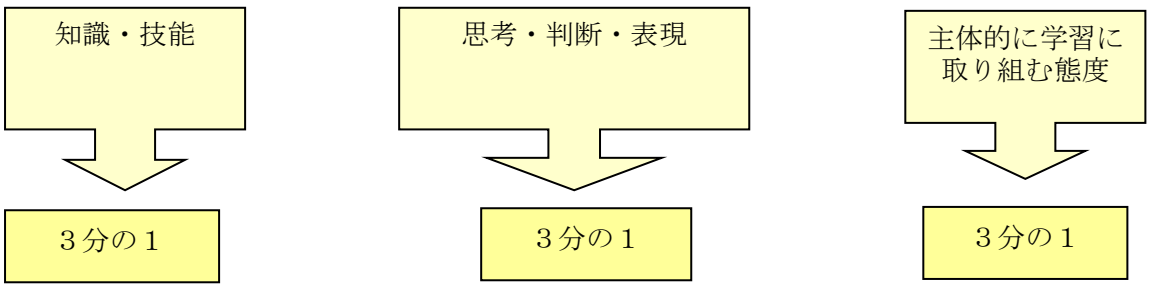
②自己評価、相互評価等を含む発言内容
自分の演奏を知るということは、相手の演奏のよさにも気付くことになります。また、適切な評価能力は、「判断力」や「思考力」を身につけることにもつながります。

③技能テスト（歌唱テスト・器楽テスト・鑑賞態度・等）
「要求されていることが何であるか」を判断し、「このような表現にしたい」という願いを表現することが大切です。そのためには、音に耳を傾け、話を聴く力が成長のカギになります。限られた時間の中で、集中して練習に取り組んでください。

（２）学習の成果・及び、提出物

授業で使用したワークシート類から、学習状況を確認し、その成果を評価していきます。
①提出期限は守ってください。
②内容に工夫がみられるか。授業内で要求されていることを理解し、まとめられているか。

（３）定期テストによる評価

授業の中で学んだ内容、工夫した内容を定期テストでも確認をします。

【教科における観点別評価項目】